

ジンギスカンで浜美化交流

石狩浜で浜辺のゴミ清掃と親睦会



海に関わるゴミ拾いを行っている「北海道海浜美化を進める会」では、毎年時期に浜美化交流会を行っています。7月5日石狩浜の砂浜でゴミ拾いと懇親会を持つという「第8回浜美化交流会」を行ないました。

参加者は60人。親子連れ、学生、中高生などで、2・3人が一組になってゴミを拾いました。遊ビーチとなすけられた海岸には、多くの人たちが集まり、キャンプや、バーベキューなど楽しんでいました。砂浜の全長は500mくらい。

浜開きの前に清掃したとの事でしたが、ゴミは結構散在していました。午前中、一時間ほどのゴミ拾いだったが、釣りに来ていた家族が、一緒になって周りのゴミ拾いを行い、「私たちもできる範囲でゴミ拾いをします。皆さんも頑張ってください」と語っていたのが印象的でした。



ジンギスカンや、ゲームに交流深める

ゴミ拾いの後は、待望のジンギスカンを囲んでの親睦会。18キロ用意したジンギスカンは参加者の食欲を満たすには十分でした。その後、ゲームや交流を行ないました。

親子連れ、中高生、お母さん方のグループなどいろいろな方々が参加したが、お母さん方のパワーは素晴らしいもので、後片付けなども的確に指示するなど非常にメリハリのある交流会になりました。

今回は、ゴミ拾いと焼肉交流会を合わせて行ないましたが、やはり食べるだけでなく、ゴミ拾いも行っ、それから食事をするというのは良かったようでした。



石狩浜交流会感想

菅原 勝秋

久しぶりに天気予報を気にしない活動日前日！

見事な晴天を迎えた当日でした。浜辺は、色とりどりのテントが張られ、朝9時にもかかわらず、海水浴客でいっぱいでした。ゴミはすでに回収されておりとてもきれいでしたが、少ないゴミを海水客の間をぬって活動し、啓蒙になったのでは？

焼肉パーティーも和気あいあいと進行し、飛び入りの方もおられて、楽しい交流でした。(炭の処理に関しては会として、恒常的に処理方法に統一認識を持つ必要があるようです。)

その後、希望者は「番屋の湯」の割引チケットで入浴し疲れを取り、三々五々岐路に着きました。

